

1989～90年

年 次 報 告

平成1～平成2年度



横浜緑ロータリークラブ

——ENJOY ROTARY!——
ロータリーを楽しもう！

1989～'90年度 R.I会長
ヒュー M・アーチャー

第259地区ガバナー **鈴木 克也**

横浜緑ロータリークラブ

会長 **薮 島 五 郎**

目 次

会 長 報 告	1
幹 事 報 告	2
クラブ奉仕担当理事報告	7
出席委員会報告	7
職業分類委員会報告	10
親睦活動委員会報告	11
雑誌委員会報告	12
会報委員会報告	12
会員選考委員会報告	13
会員増強委員会報告	13
プログラム委員会報告	13
ロータリー情報委員会報告	16
広報委員会報告	16
S・A・A報告	16
社会奉仕委員会報告	17
青少年委員会報告	19
インターアクト委員会報告	19
ローターアクト委員会報告	20
職業奉仕委員会報告	21
国際奉仕委員会報告	21
世界社会奉仕委員会報告	22
ロータリー財団委員会報告	22
米山奨学委員会報告	24
ポリオプラス委員会報告	25
会 計 報 告	26
横浜緑ロータリークラブ組織表	30
備 品 目 録	31
充填・未充填職業分類表	32

会 長 報 告

会 長 藪 島 五 郎

「親睦と調和」を第一の目標と考えスタートした一年間でしたが必ずしも全てに於いてそれが達成されたとは云難く反省の残る一年でもありました。又ロータリーに於ける一業種一名という職業分類上の会員資格というものに対する理解はそれなりの効果を上げたと考えております。ホームクラブへの出席により異業種なればこそ得られる話題の豊富さの中に会員相互の職業奉仕に対する理解見聞も大いに深まったといえましょう。ただこれを一層深めるために会員の職業奉仕等を含めた3分間スピーチがもう少しあればよかったと思っています。

又会員の増強、退会の防止に努めるということはいつの時にも会長の重大な責務ではありますが、増強されたとはいえ同時に数名の退会があったことは誠に残念なことでした。新会員に対してもロータリアンとしてのロータリー知識を身につけるよう配慮されたかどうか、数々の後悔も残りますが至らぬ会長に一年間ご協力頂き心より厚くお礼申し上げます。

幹 事 報 告

幹 事 幸 内 伸 雄
副幹事 渡 辺 宏 未

クラブの概況

名 称	横浜緑ロータリークラブ		
地 域	横浜市緑区	人 口	4 2 6, 2 1 9 名
		世帯数	1 5 1, 5 8 8 世帯 (6. 1 現在)
事 務 所	横浜市緑区中山町 230	横浜銀行中山支店内	
例 会 場	同 上		
例 会 日	毎週水曜日	1 2 : 3 0 ~ 1 3 : 3 0	
創 立	昭和 4 5 年 2 月 2 8 日	(スポンサークラブ 横浜港北 R C)	
	昭和 4 5 年 3 月 1 1 日	R I の正式加盟承認	
		特別代表 山 崎 卯 一	
	昭和 4 5 年 1 2 月 1 3 日	認証状伝達式 4 クラブ合同	
		(於 横浜市文化体育館)	
	昭和 5 3 年 5 月 2 7 日	横浜田園 R C 創立総会	
		於 三井銀行青葉台支店	
		(移籍会員 4 名)	
	昭和 5 2 年 1 1 月 2 3 日	桐蔭学園高校インターアクトクラブ	
		認証状伝達式举行 (於 桐蔭学園)	
	昭和 5 5 年 1 1 月 2 3 日	桐蔭学園高専ローターアクトクラブ	
		創立総会 (於 桐蔭学園)	
	昭和 5 9 年 3 月 2 7 日	横浜たま R C 創立総会	
		於 和光証券 (移籍会員 5 名)	
付 記	所属地区は頭初第 359 地区、昭和 4 9 年 7 月第 359 地区より山梨県・静岡県を区域とする第 362 地区が分割され、当地区は神奈川県 1 県となりました。		
	昭和 5 2 年 7 月より R I の地区変更により第 259 地区となりました。		

1. 会 員 (6 月 3 0 日現在)

(1) 会員の種類

正 会 員	3 5 名
シニア・アクティブ会員	1 6 名
計	5 1 名 (内 チャーターメンバー 5 名)

(2) 年 令

30才台～	3名	最高年齢	81才
40才台～	8名	最低年齢	36才
50才台～	22名	平 均	56才
60才台～	14名		
70才以上	4名		

現会員で当クラブ会員としての在籍数

1年未満	17		
1～3年	4	平 均	約7.4年
4～6年	8		
7～9年	4		
10年以上	18		

2. 例会来客数

例 会 数	48回		
来 客 数	ゲスト及ビジター合計数	85名	
	(内ゲスト	26名)	

月	例 会 数	来客数・ゲ	月	例 会 数	来客数・ゲ
7	4	3 (1)	2	4	6 (2)
8	3	13 (3)	3	3	3 (2)
9	4	7 (4)	4	4	8 (3)
10	4	6 (1)	5	5	7 (4)
11	5	20 (3)	6	4	1 (1)
12	3	4 (1)			
1	4	7 (1)	計	48	85 (26)

一例会平均 約1.8名

〔入 会 者〕

氏 名	入会年月日	職業分類
折 田 啓一郎 君	平成1年 7月26日	電 話 事 業
森 實 君	平成1年11月22日	新 聞
遠 藤 一 典 君	平成2年 2月 6日	ビ ル 賃 貸
堀 井 基 章 君	平成2年 2月 6日	短 期 大 学
井 上 周 輔 君	平成2年 2月 6日	建 築 設 計
黒 沼 正 雄 君	平成2年 2月 6日	建 築 材 料
長 沼 博 君	平成2年 2月 6日	税 理 士
関 口 将 実 君	平成2年 2月 6日	設 備 工 事
田 中 亮 二 君	平成2年 2月 6日	口 腔 外 科
渡 辺 清 君	平成2年 2月 6日	農 業
脇 田 幸 一 君	平成2年 3月 7日	専 門 病 院
加 藤 喜 夫 君	平成2年 3月14日	歯 科 矯 正
小 俣 良 一 君	平成2年 5月 2日	都 市 銀 行
吉 田 篤 正 君	平成2年 5月23日	
三 浦 澄 好 君	平成2年 6月13日	信 用 金 庫

〔退 会 者〕

氏 名	退会年月日	理 由
高 橋 義 弘 君	平成1年 7月26日	転 勤
加 藤 勇 夫 君	平成1年12月27日	一身上の都合
寺 崎 誠 三 君	平成1年12月27日	一身上の都合
長 瀬 正 作 君	平成1年12月30日	一身上の都合
中 畑 龍 二 君	平成1年12月30日	一身上の都合
城 田 昭 次 君	平成1年12月30日	一身上の都合
富 永 力 君	平成1年12月30日	健 康
飯 田 三 郎 君	平成2年 3月30日	転 勤
八 木 節 夫 君	平成2年 3月30日	転 勤
戸 田 裕 也 君	平成2年 4月 4日	一身上の都合
飯 塚 金次郎 君	平成2年 5月25日	多 忙

〔歴代会長・幹事及会員数，出席率〕

	会 長	幹 事	就 任 時 在籍会員数	年 間 出 席 率	備 考
創 立 時	石 川 治 道	柴 田 清	24 名	92.86%	45年6月迄
45～46	石 川 治 道	柴 田 清	24 名	98.58%	
46～47	(秋 田 茂)	三 澤 君 夫	41 名	98.09%	
47～48	小 林 安 雄	(高 橋 正 文)	40 名	94.29%	
48～49	加 藤 雅 光	名 倉 健 二	37 名	98.40%	
49～50	鶯 川 昇	山 下 栄 蔵	39 名	97.67%	
50～51	名 倉 健 二	武 藤 松 一	42 名	97.38%	
51～52	中 山 恒三郎	岩 沢 幸 男	47 名	98.60%	
52～53	三 澤 君 夫	岡 本 健	48 名	98.82%	
53～54	森 善 助	(浜 田 勝 弥)	47 名	98.57%	
54～55	山 下 栄 蔵	戸 田 裕 也	50 名	98.74%	
55～56	岡 本 健	代々木 和 男	45 名	99.33%	
56～57	岩 沢 幸 男	中 林 靖	50 名	99.18%	
57～58	田 辺 政 雄	内 野 晃	48 名	99.11%	
58～59	武 藤 松 一	渡 辺 武	50 名	97.86%	
59～60	戸 田 裕 也	寺 崎 誠 三	45 名	96.31%	
60～61	田 沼 文 衛	岩 岡 正	45 名	96.27%	
61～62	中 林 靖	赤 柄 忠 昭	50 名	97.83%	
62～63	内 野 晃	藪 島 五 郎	51 名	96.96%	
63～64(平成1)	代々木 和 男	遠 藤 真 作	53 名	95.65%	
平成1～ 2	藪 島 五 郎	幸 内 伸 雄	51 名	94.68%	

〔チャーターメンバー〕 現会員 7名

秋 田 茂	昭 55. 2. 20 死去	足 立 英 一	昭 46. 9. 1 退会
石 川 治 道	52. 6. 30 退会	麻 生 和 衛	54. 12. 26 退会
岩 崎 董 正	57. 6. 30 退会	藤 森 茂	47. 4. 5 退会
小 林 安 雄		浜 田 淳太郎	48. 1. 31 退会
小 峰 政 博	48. 10. 20 退会 相模原南RCへ	細 辻 文 次	47. 6. 28 退会
中 山 恒三郎	60. 4. 24 退会	岩 本 正 三	63. 7. 11 死去
柴 田 清	48. 4. 4 退会	松 田 三 郎	47. 6. 7 退会
鈴木 憲 一	54. 9. 1 死去	三 橋 英 一	
土志田 昭 吉	54. 8. 29 退会	名 倉 健 二	

岡 本 健		富 永 力 平	1. 12. 30 退会
志 田 宝	昭 47. 1. 29 退会	鵜 川 昇	
高 橋 正 文	50. 6. 26 退会	吉 田 晴太郎	昭 48. 5. 2 退会

〔本年度地区委員〕

鵜 川 昇 君	1990～91年度ガバナーノミネー オン・ツー・ポートランド国際大会委員長
三 澤 君 夫 君	財団奨学金委員会委員長
内 野 晃 君	世界社会奉仕委員会委員長
名 倉 健 二 君	第4分区代理

ク ラ ブ 奉 仕 担 当 理 事 報 告

担当理事 近 藤 裏

“Enjoy Rotary”この言葉の通りに会員諸氏は過されたかどうか、今一年間を振り返っています。クラブ奉仕はクラブ運営成功の鍵と心に刻んでいたつもりですが果してそれが実現できたのか、勿論反省点は一杯あるにしてもそれなりの努力はしたつもりでおります。これからも尚一層各委員会と密接な関係を保ち楽しいクラブ環境作りに励みたいと思います。ありがとうございました。

出 席 委 員 会 報 告

委員長 小 林 新 一

副委員長 日 高 信 良

委 員 名 倉 健 二

暦月に50%のホームクラブ出席が出来なかった人、又メークアップをしなかった人にニガニガを提出することに努めた。

又、新会員の入会1年間のホームクラブ出席促進を計ったが思う程でなかった。

1989～90（平成元～2年）

	1	2	3	4	5
1989	例 会 日 付	会 員 総 数 (名 誉 会 員) (を 除 く)	出 席 計 算 に 用 い た 会 員 数	出 席 ま た は メ ー ク ア ッ プ し た 会 員 数	百 分 率
7 月	5	47	36	36	100
	12	47	36	35	97.22
	19	47	36	35	97.22
	26	47	37	37	100
				合 計	394.44
				平均百分率	98.61
8 月	2	47	37	36	97.30
	9	47	37	36	97.30
	16	休会			
	23	47	37	37	100
	(30)31	47	37	37	100
				合 計	394.60
9 月				平均百分率	98.65
	6	47	37	33	89.19
	13	47	37	34	91.89
	20	47	37	35	94.59
	27	47	37	35	94.59
				合 計	370.26
10 月				平均百分率	92.57
	4	47	36	34	94.44
	11	47	36	36	100
	18	47	36	34	94.44
	25	47	36	34	94.44
				合 計	383.32
11 月				平均百分率	95.83
	1	47	38	32	84.21
	8	47	38	35	92.11
	15	47	37	34	91.89
	22	48	38	34	89.47
	29	48	38	31	81.58
12 月				合 計	439.26
				平均百分率	87.85
	6	48	38	34	89.47
	13	48	38	32	84.21
	20	48	38	33	86.84
	27	休会			
				合 計	260.52
				平均百分率	86.84

	1	2	3	4	5
1990	例 会 日 付	会 員 総 数 (名 誉 会 員) (を 除 く)	出 席 計 算 に 用 いた 会 員 数	出 席 ま た は メ ー ク ア ッ プ し た 会 員 数	百 分 率
1 月	3	休日			
	10	42	35	34	97.14
	17	42	35	34	97.14
	24	42	35	34	97.14
	31	42	35	34	97.14
				合 計	388.56
				平均百分率	97.14
2 月	7	50	43	42	97.67
	14	50	43	42	97.67
	21	50	43	42	97.67
	28	50	43	42	97.67
				合 計	390.68
				平均百分率	97.67
3 月	7	51	44	43	97.73
	14	52	45	41	91.11
	21	休日			
	28	52	45	43	95.56
				合 計	284.40
				平均百分率	94.80
4 月	4	50	49	38	91.49
	11	49	40	34	85.00
	18	49	40	38	95.00
	25	49	40	38	95.00
				合 計	366.49
				平均百分率	91.62
5 月	2	50	40	39	97.50
	9	50	39	38	97.44
	16	50	39	38	97.44
	23	51	40	37	92.50
	30	50	40	40	100
				合 計	484.88
				平均百分率	96.98
6 月	6	50	40	38	95.12
	13	51	41	38	95.12
	20	51	41	41	100
	27	51	41	41	100
				合 計	390.24
				平均百分率	97.56

年 平 均 94.68%

本年度個人 100 %出席者並びに連続 100 %の会員は下記の通りです。

○ … 本年度 100 % ◎ … ホームクラブ 100 %

数字は連続年数

	前年度迄	本 年	計		前年度迄	本 年	計
赤 柄	12	○	13	内 野	2	○	3
日 高		○	1	鵜 川	19	○	20
上 林		○	1	渡 辺(宏)	1	○	2
金 子	1	◎	2	山 下	3	○	4
近 藤	5	○	6	折 田		○	入会以来
小 杉	3	○	4	遠 藤		○	〃
三 澤	15	○	16	井 上		○	〃
名 倉	1	○	2	長 沼		○	〃
中 林	16	○	17	脇 田		○	〃
二 宮		○	1	加 藤		○	〃
斉 藤	3	○	4	吉 田		○	〃
佐 藤		○	1	三 浦		○	〃
田 中(克)	3	○	4				

職 業 分 類 委 員 会 報 告

委員長 山 下 栄 蔵
副委員長 ②岡 本 健
委 員 ③小 林 安 雄

前期の分類表を、そのまま継承し、未充填のままとなっている業種より積極的に充填となる様、他の委員会にも要請し、その活動を進めました。

その結果として。

次年度 1990 年 9 月 29 , 30 日開催の 259 地区大会のスポンサーをひかえ、今期中に大量の退会者が発生致しましたが、多くの新会員を迎えられ、未充填増の傾向となりましたが、時代の流れと共に新会員の為に新しく、分類を作成した業種もありました。

以 上

親睦活動委員会報告

委員長	渡辺 宏 未			
副委員長	(八 木 節 夫)			
委 員	折 田 啓一郎	島 田 幸 夫	(中 畑 龍 二)	
	斎 藤 宏 一	田 沼 文 衛	松 田 税	
	森 實	遠 藤 一 典	堀 井 基 章	
	井 上 周 輔	黒 沼 正 雄	長 沼 博	
	関 口 将 実	田 中 亮 二	渡 辺 清	
	脇 田 幸 一	加 藤 喜 夫	小 俣 良 一	
	吉 田 篤 正	三 浦 澄 好		

1年を通じて、会員数の移動が多く、計画の立てにくい一年であったが、最終目的の70%出席を上まわり、6月6日の期末懇親会には80%出席の40名を得たことは、ガバナー選出の年度を迎えるにあたり、大いなる結束の効果であったと言える。

一年間の活動は次の通りである。

平成元年	7月12日(水)	グルメ座談会	浜太郎にて	21名出席
	8月30日(水)	横浜博覧会会場にて移動例会		
	9月13日(水)	グルメ座談会	み吉野にて	20名
	9月21日(水)	三クラブ合同コンペ	相模原CCにて	12名
	10月 4日(水)	親睦委員会	浜太郎にて	11名
	11月 1日(水)	移動例会	吉田邸見学	20名
	11月29日(水)	夜間例会	わかかなにて	27名
	12月20日(水)	クリスマス家族会	郵便貯金会館にて	71名
平成2年	1月31日(水)	夜間例会	新横浜国際ホテルにて	27名
	2月14日(水)	炉辺会談(グルメ)	近藤邸にて	25名
	3月 7日(水)	グルメ座談会、移動例会	フジビューホテルにて	35名
	3月14日(水)	次期委員長打合せ	水車園にて	21名
	3月29日(水)	ゴルフコンペ	平塚富士見CCにて	16名
	5月19日(土)	防衛大学校見学会(家族会)		17名
	5月30日(水)	夜間例会	浜太郎にて	36名
	6月 6日(水)	ゴルフコンペ	伊豆大仁CCにて	16名
	6月 6日(水)	期末懇親会	熱海石亭にて	40名

雑誌委員会報告

委員長 斎藤 宏 一
副委員長 (飯塚 金次郎)
委員 小林 敬

1. ロータリーの友誌を通じて会員相互の理解を深めるため、毎月一週間早く雑誌を委員長が受け取り精読の上、翌週重要なポイント、面白い文を選び一読する様呼びかけました。
一年間欠さず同一視点から発表したことに意義があったと思います。
2. 特に新しい人達にロータリーを理解する上で、この雑誌は有益です。折にふれてこの事を強調しました。
3. 投稿に力を入れました。結果、この一年間でポート・クロム・クラブに写真掲載二回、話の泉に一回、友愛の広場に一回、計四回、記事及写真をのせる事が出来ました。
満足のいく成果だったと思います。

会報委員会報告

委員長 飯田 重 雄
副委員長 島田 幸 夫
委員 日高 信 良

1. 会報は、会員の出席を高めるよう各自が関心を持つように促進しましたが、効果は今一歩というところです。
2. 例会のプログラム等をなるべく早めに会員に伝え、意識の向上を図りました。
3. 近隣クラブと会報の交換を図り、ロータリー活動をより広く見聞をひろめるよう努力しました。
4. 会員の発言の場として、建設的意見を広く募集しました。
5. 定期的な記事は漏らさず記載するようにしました。

会員選考委員会報告

委員長 代々木 和 男
副委員長 田 沼 文 衛
委 員 内 野 晃

本年度は画期的に多くの新会員を迎えることが出来、増強委員会並びに推薦者の皆様に感謝申し上げます。新会員には選考にあたり選考基準書内容の理解をもとめ、協調性を重視して選考いたしました。

会員増強委員会報告

委員長 森 善 助
副委員長 中 林 靖
委 員 遠 藤 真 作

1. 鶴川ガバナーノミニーの推薦クラブとして恥じない活動を行うにあたり会員各位の多大なる御努力により増強に力を入れていただいた事に厚く感謝いたします。
2. 1989～90年（平成元年～2年）度において13名の増強を得たことは、本ロータリークラブに新戦力となりクラブの発展に大きな期待をするところであります。

プログラム委員会報告

委員長（城 田 昭 次）
副委員長（寺 崎 誠 三）
委 員（飯 田 三 郎）

プログラムの立案、進行ともに至らぬ点多々ありましたこと、紙面を借りてお詫び申し上げます。しかし卓話に於ける職業経験談等、職業の異なる会員間の趣味、信条などの語り合いはそれなりに大きな成果を げたと考えております。

これからの地域社会を考えると、緑区に於ける奉仕活動はどうあるべきか、その対処の仕方も大いに勉強することができました。会員皆様の暖いご協力に心からお礼申し上げます。

1989～90年度（平成1～2年度）

水曜日例会

	クラブアッセンブリー			クラブアッセンブリー	クラブアッセンブリー	
月 週	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
第一週	5日 就任挨拶 会長・幹事	2日フォーラム 国際奉仕 委員長 金子委員長	6日 青少年活動 月間 赤柄担当 理事	4日 米山月間 三澤委員長	1日 移動例会 旧吉田茂邸	6日 卓話 IM（女性会 員）について 名倉健二会員
第二週	12日 新年度計画 四大奉仕 委員長	9日フォーラム 職業奉仕 委員長 土志田委員長	13日 卓話 衆議院議員 鈴木恒夫	11日 職業奉仕 委員長 職場見学 横浜衛生管制 センター	8日 卓話 人の見抜き方 といかし方 大谷 巖	13日 前半を 省みて 会長・幹事 （定例理事会）
第三週	19日 フォーラム クラブ奉仕 委員長	16日 休 会	20日 ガバナー 公式訪問	18日 フォーラム ローターアクト 中畑委員長	15日 卓話 茶の自然 裏千家 今日庵業舩 金沢宗也	20日 クリスマス 家族会
第四週	26日 フォーラム 社会奉仕 委員長 田中委員長 （定例理事会）	23日 卓話 防災対策 について 緑消防署長 （定例理事会）	27日 卓話 21世紀 プラン 緑区長 （定例理事会）	25日 地区大会 報告 （定例理事会）	22日 卓話 ハンセン氏病 対策視察団報告 内野晃会員 （定例理事会）	27日 休 会
第五週		31日 横浜博覧会 例会場			29日 夜間例会 わかな	
年間 行事		会員増強月間	青少年活動 月間	米山月間 職業奉仕月間 地区大会	R 財団月間	

横浜緑 R C 年間プログラム表

委員長 飯田 三 郎

月 週	クラブアッセンブリー		クラブアッセンブリー		クラブアッセンブリー	
	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
第一週	3日 年始 休 会	7日 世界理解月間 世界社会奉仕 について 遠藤委員長	7日 移動例会 フジビュー ホテル	4日 卓話 1,000回記念 例会	2日 卓話 国際大会に ついて 森(善)山下 会員	6日 期末懇親会 熱海 石亭
第二週	10日 新年度挨拶 会長・幹事	14日 クラブ創立 記念日 卓話 三澤会員	14日 卓話 ポリオプラス 月間 二宮委員長	11日 卓話 雑誌月間に ついて 斉藤宏一 委員長	9日 卓話 我國の防衛 について 高見 巖	13日 1 年を かえりみて 四大奉仕 委員長
第三週	17日 卓話 よこはま21世 紀プラン基本 計画の概要 矢島誠治会員	21日 フォーラム 国際奉仕につ いて 金子委員長	21日 春分の日 休 会	18日 クラブ フォーラム 近藤クラブ 奉仕委員長	16日 移動例会 工場見学会 雪印乳業	20日 職業報告 井上周輔 会員 クラブ奉仕 委員長報告
第四週	24日 卓話 職業報告 折田啓一郎 会員 (定例理事会)	28日 卓話 職業報告 森實会員 (定例理事会)	28日 卓話 職業報告 松田税会員 (定例理事会)	25日 卓話 職業報告 遠藤一典 会員 (定例理事会)	23日 卓話 地区協議会 報告 (定例理事会)	27日 今期終了挨拶 会長・幹事 (定例理事会)
第五週	31日 夜間例会 新横浜国際 ホテル				30日 夜間例会 浜太郎	
年間行事	R 理解 推進月間	ロータリー 創立記念日 世界理解月間 クラブ 創立記念日	ポリオプラス 月間 (日本)	ロータリー 雑誌月間	地区協議会	国際大会

ロータリー情報委員会報告

委員長 内 野 晃
副委員長 ②好 井 良 雄
委 員 ③代々木 和 男

1. 炉辺会合を2回行った。1月17日と(上林会員宅)、2月14日(近藤会員宅)いずれも新築の豪邸で、新築祝をかねて御馳走になりながら情報活動と親睦をはかった。
2. 前委員長中林会員が作成された、R用語及年表を利用させて頂いた。
3. 今回は会員の増減がはげしかったが、新会員に対する情報が不十分であったと反省している。

広報委員会報告

委員長 横 井 好 明
副委員長 (加 藤 勇 夫)
委 員 (八 木 節 夫)

- 1) 地元紙に例年の如く広告を掲載した。
- 2) 近隣の会合等に積極的に参加をし、対話の中で、ロータリーの奉仕の精神による活動事例等を話し、関心を持って頂けるよう、つとめて「アピール」した。

S・A・A 報 告

委員長 小 杉 隆
副委員長 日 高 信 良
" 飯 田 重 雄

S・A・A 当年度のテーマを“融和”に求め、総ての会員の互敬と平等が尊重される例会運営に努めて参りました。

1. 3分間スピーチの実施

総ての人と人との始まりは語りかけから始まる、との考え方で全員が全員に語りかける3分間スピーチの完全実施が出来ました。

2. 入会祝いに花のプレゼント

新しい友を得られた喜びを花のプレゼントによって表し、卓話台の生花と共に例会場に華やかさを添えるようにしました。

3. 発言を自席で・・・

語り易さと時間の節約の為、可能な限り自席での発言をお願いしました。

4. 食事の改善

年度後半に至り、日高会員の好意によって美味しい食事を頂く事が出来るようになりました。

5. 座席の固定化失敗

特定の小集団のみの陸み合いを避け、全員が全員と対話出来るよう努めました会場やテーブルの不足から失敗に終わりました。

社会奉仕委員会報告

委員長 田 中 克 己

副委員長 上 林 正 勝

委 員 日 高 信 良

〃 矢 島 誠 治

本年度の目標として、強制された奉仕、形骸化された奉仕より脱却して、真の奉仕とは如何にあるべきかと云う事に取組んだが事実は行政機関や他の各種奉仕団体との関連・背景等複雑な要素も多く理想と現実のギャップに戸惑ったのが本音であった。

活動として

- ① 8月22日～24日河口湖畔にて行われた緑区肢体不自由児父母の会主催 横浜建設業協会緑区会協賛による肢体不自由児夏期研修旅行会に当クラブも（渡辺、斉藤、上林、田中各会員）が参加した。

この旅行は肢体不自由児1名にボランティア1名がマンツーマンで行動を共にし、富士急ハイランド、野猿公園、花火大会等全員（肢体不自由児20名）手押車を連ねての一泊旅行であり、その情景は正に壮観そのものであった。

歩く事、笑う事、泣く事も、食べる事でさえ、自由に出来ない子供達が渾身の力をふりしぼって

自己を表現している姿を目前にして、健康な自分を見つめながら言葉では云い表せぬ衝動にかられ、唯茫然と立ちすくむのみであった。

当日は緑区会の若い人（現場で日頃汗水流して働いている人）又、上林会員の病院より2名の看護婦さん（病院で昼夜にわたって働いている人）の参加もあり、その献身的な行動は何にも変え難い実践教育であり感動を覚え、すばらしい若者の姿を久し振りに拝見致しました。特に、当クラブより参加なさった渡辺、斉藤両氏は自分自身足のご不自由な体で我々と共に手押車を押して山へ登り、遊園地の乗り物にも、種々同乗なさって居る姿は、本当に貴くもあり、美しく感銘を受けました。

今回の旅行に参加してこの良い機会を与えて下さり、良き実践教育をさせて頂いた事に感謝致します。

- ② 4月8日（日） 緑区肢体不自由児父母の会主催チャリティーバザーに横浜緑建設業協会緑区会と共に協賛参加致しました。

会員各位のご協力によって集められた品物を販売、又、焼そばコーナーを設けての販売は大変好評であった。当日は強雨の中、多数の会員が参加頂き有難うございました。焼そば作りに、物品販売にと大活躍をして頂き、売上金38万3,000円也の尊い資金を得ることが出来ました。

その汗水の結晶である資金より15万円を緑区肢体不自由児父母の会へ寄贈させて頂きました。

- ③ 5月9日 緑区精神障害施設として10,000円の寄付を致しました。

「云うは易く、行うは難し」とは申せ、やはり真の奉仕には汗と涙と心がなければならない。

言葉だけ、物質や金銭のみの奉仕は、無きに等しいとは云えないが、徒らに偽善に走り、自己満足になる事を注意しなければならない。

物質文明謳歌されている今日、最も大切な心の豊かさを忘れてはならないと教えられた貴重な体験であった。

問題点を指摘するならば、社会奉仕には寄付、交通安全、防犯、献血、慰問、清掃、環境整備、青少年育成等、多くの活動があるが各々の分野に於いて専門的知識を充分把握していないと逆効果になるケースが考えられる。

例えばそれ等の活動の中で事故や悪影響のあった場合補償、修復問題等を考えると、当ロータリークラブ単独での活動では自ずと限定されて来るのではないか。

出来得るならば該当専門ゲール等との協賛形態でサポートする方が良策ではないかと考えられる。

青少年委員会報告

委員長 赤 柄 忠 昭
副委員長 三 澤 君 夫
委 員 (富 永 力)

1. 桐蔭学園インターアクト、ローターアクトの奉仕活動に対する側面からの協力を行った。
2. 地域の学校、及び種々の青少年団体の行事に参加し、又、特に問題のある中学生達に、地域の野球大会、バレーボール大会、ソフトボール大会、健民祭などへの参加を呼びかけ、参加してもらい、若い人達の意見や考え方の違いについて話をしたり、懇親を深めた。

特に未成年者のタバコの問題については、なぜいけないかということを医学的分野から説明してあげたら、かなり理解されたと思う。

3. 青少年とのふれあいの場を出来るだけ多く持ち、青少年の声（意見や希望）を聞き、援助出来るものは、地域の住民の協力をも得て行った。
 - 学校の校庭を借用し、バーベキュー大会への参加。
 - 祭礼時における、おみこしのかつぎ手募集。
 - 区民運動会への参加。
4. ライラ参加者の呼びかけを積極的に行った。

インターアクト委員会報告

委員長 上 林 正 勝
副委員長 鵜 川 昇
委 員 森 善 助
" 二 宮 浩

1. 県立養護施設「中里学園」との交流。
(スポーツ大会, 昼食会)
2. 特別養護老人ホーム「緑の郷」見学。
(次年度活動の下準備)
3. 鶴見川サイクリングロード及び学園周辺の清掃活動。
4. 定例会において「手話によるスピーチ」を聴く。

5. R. I 第 259 地区, 地区協議会の準備。
会場案内, 駐車場誘導, 清掃作業, 他。
(5 月 13 日 於桐陰学園)
6. 中里学園との交流。
 - ① ディ・キャンプ
 - ② 学園祭案内
 - ③ スポーツ大会
7. 「緑の郷」(特別養護老人ホーム) への定時慰問。
(週 1 回)
8. 募金活動。
9. 古切手集め。 (生徒会とタイアップ)
10. 地域清掃活動。 (横浜市緑区内)
11. ボランティア学習会。 (於 定例会)
12. 海外研修旅行参加。 (8 月 21 日 ~ 8 月 25 日まで)
中華人民共和国, 北京市
正会員 (中学 3 年 ~ 高校 3 年) 72 名
準会員 (中学 1 年 ~ 中学 2 年) 23 名

ローターアクト委員会報告

委員長 斎藤 宏 一
(中 畑 龍 二)
委 員 (加 藤 勇 夫)

1990年の初めに委員長, 中畑龍二さん, 委員 加藤勇夫さんが突然ロータリーをお辞めになりました。ために急拠, 私がピンチヒッターに立たされました。会の運営方針としては前委員長を踏襲し学校側の自主性を最大限に尊重し, 会としてはローターアクト委員以外の者の多数の出席を求めました。この結果, 会の運営はスムーズに行はれた様です。

唯会の在り方としては多少不満が残ります。なるほど社会奉仕という面から見ますと申し分ないのですが, ローターアクトとしての対外的なつながりには少々欠ける様な気がします。

この点を考慮し, もう少し潤達な会になる様, 指導出来たらと思っております。

職業奉仕委員会報告

委員長 土志田 猛
副委員長 好井良雄

- (1) クラブフォーラムを年2回実施した。
 - (イ) 職業奉仕月間に卓話を実施。
- (2) 職場見学会を年2回実施。
 - (イ) 日本通信衛星㈱の工場見学
 - (ロ) 雪印乳業㈱横浜工場の見学

国際奉仕委員会報告

委員長 金子朝夫
副委員長 (富永力)

民主化の波が世界を揺がし、1990年3月にはモスクワに、ロータリークラブが誕生する等、平和が地球を包む……、大変に嬉しい国際化の1年でした。

当、委員会としましては4項の活動目標を掲げて運営してまいりました。

- (1) 国際交流を深めるための機会を捉えるための一環として、藤が丘地区センターの国際ラウンジ、細川会長を招き、緑区在住の外国人の実態等について、ボランティア活動の声を聞き新たな認識を得ました。
- (2) 留学生に対し、第2の故郷となる様な心のこもった対応を……、という事で、クリスマス会に招待すると共に近藤クラブ奉仕委員長、渡辺親睦委員長をはじめとする、皆さんの格段のご配慮により近藤委員長に招いて戴き、大変素晴らしい交流が図られました。
- (3) ハンセン氏病撲滅に対する援助並びに星野先生来日により、現地の実態の話を伺い、一層の支援と複雑な状況の国の事情を知る事が出来ました。
- (4) 1989年10月のサンフランシスコ大地震に対しての義援金の拠出又、G. S. Eチームの受け入れについて名倉分区代理には大変お骨折りをいただきました。ホームスティとして土志田会員にもお世話になりました。

以上各位のご協力により初期の目的を果す事が出来ました事、厚く御礼申し上げます。

世界社会奉仕委員会報告

委員長 遠藤 真作
副委員長 (戸田 裕也)
委員 折田 啓一郎

- ① 国際平和を求め、世界各国との交流を深め、相互理解を深めたいと思います。
- ② 国際奉仕委員会及ポリオプラス委員会と綿密に連絡を取り、世界社会奉仕に努めたいと思います。

ロータリー財団委員会報告

委員長 高嶋 経保
副委員長 (寺崎 誠三)
委員 (長瀬 正作)
〃 三橋 英一

1. 世界有数の民間教育団体である、国際ロータリーのロータリー財団の活動を広報し、財団プログラムに対するクラブレベルの支援を奨励した。
2. ポールハリスフェロー及び準フェローに1人でも多くなってもらうよう努力した。また新しい会員にも、特に協力が得られ、新しい準フェローが12名に達した。

◎ポールハリスフェロー

現会員(敬称略)

- | | | |
|----------|-----------|------------|
| 1. 赤柄 忠昭 | 10. 名倉 健二 | 19. 山下 栄蔵 |
| 2. 土志田 猛 | 11. 中林 靖 | 20. 好井 良雄 |
| 3. 遠藤 真作 | 12. 岡本 健 | 21. 代々木 和男 |
| 4. 小林 安雄 | 13. 田沼 文衛 | |
| 5. 幸内 伸雄 | 14. 内野 晃 | |
| 6. 近藤 襄 | 15. 鵜川 昇 | |
| 7. 三澤 君夫 | 16. 渡辺 宏未 | |
| 8. 三橋 英一 | 17. 藪島 五郎 | |
| 9. 森 善助 | 18. 矢島 誠治 | |

元 会 員 (順不同)

- | | | |
|--------------|---------------|---------------|
| 1. 土志田 昭 吉 殿 | 8. 岩 崎 董 正 殿 | 15. 和 田 功 殿 |
| 2. 黒 沢 保 殿 | 9. 鈴 木 憲 一 殿 | 16. 加 藤 勇 夫 殿 |
| 3. 高 橋 正 文 殿 | 10. 田 辺 政 雄 殿 | 17. 長 瀬 正 作 殿 |
| 4. 武 藤 松 一 殿 | 11. 中 山 恒三郎 殿 | 18. 城 田 昭 次 殿 |
| 5. 石 川 治 道 殿 | 12. 古 谷 英太郎 殿 | 19. 寺 崎 誠 三 殿 |
| 6. 山 口 吉 蔵 殿 | 13. 岩 岡 正 殿 | 20. 戸 田 裕 也 殿 |
| 7. 浜 田 勝 弥 殿 | 14. 中 村 彰 宏 殿 | 21. 富 永 力 殿 |

会 員 外 (順不同)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 武 藤 勝 典 殿 | 5. 森 玉 江 殿 |
| 2. 武 藤 義 一 殿 | 6. 田 辺 しげ子 殿 |
| 3. 武 藤 泰 典 殿 | 7. 中 山 礼 子 殿 |
| 4. 武 藤 純 子 殿 | 8. 小 林 ハマ子 殿 |

◎準フエロー (敬称略)

- | | | |
|-------------|-------------------|-------------------|
| 1. 遠 藤 一 典 | 11. 関 口 将 実 | 21. 島 田 幸 夫 |
| 2. 日 高 信 良 | 12. 小 杉 隆 | 22. 高 嶋 経 保 |
| 3. 堀 井 基 章 | 13. 松 田 税 | 23. 田 中 克 己 |
| 4. 飯 田 重 雄 | 14. 三 澤 君 夫 (2回目) | 24. 田 中 亮 二 |
| 5. 井 上 周 輔 | 15. 森 善 助 (2回目) | 25. 脇 田 幸 一 |
| 6. 上 林 正 勝 | 16. 森 實 | 26. 渡 辺 清 |
| 7. 金 子 朝 夫 | 17. 二 宮 浩 | 27. 横 井 好 明 |
| 8. 小 林 新 一 | 18. 長 沼 博 | 28. 代々木 和 男 (2回目) |
| 9. 小 林 敬 | 19. 折 田 啓一郎 | |
| 10. 黒 沼 正 雄 | 20. 斉 藤 宏 一 | |

会 員 外 (順不同)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 岩 岡 明 子 殿 | 6. 中 林 順 子 殿 |
| 2. 長 瀬 す み 殿 | 7. 遠 藤 と き 殿 |
| 3. 戸 田 堯 子 殿 | 8. 岡 本 トモエ 殿 |
| 4. 富 永 み や 殿 | 9. 内 野 陽 子 殿 |
| 5. 寺 崎 きつえ 殿 | 10. 山 下 百合子 殿 |

1989～'90年（平成1～2年）ロータリー財団

累 計	100,117ドル
内 本 年 分	8,011ドル（1人当 約157ドル）
内 ポ リ オ	3,070ドル（43万円）
純 財 団	4,941ドル（1人当 約 97ドル）

ポ リ オ 累 計 2,206,500円
1人当（51人） 43,200円強

米山奨学委員会報告

委員長 三 澤 君 夫
副委員長 横 井 好 明

10月の第259地区大会に於いて、当クラブは下の表彰をうけた。

米山功労者 飯田重雄 会員

米山記念奨学会寄附優秀クラブ、米山功労クラブ、ロータリー財団寄附優秀クラブ、
緑R・C米山記念奨学会特別寄附1,000万円達成クラブ

◎米山功労者

- | | | |
|-----------------|---------------------|-----------------|
| 1. 土志田 猛 | 4. 三 澤 君 夫 | 7. 内 野 晃 |
| 2. 飯 田 重 雄 | 5. 森 善 助（2口） | 8. 鶺 川 昇 |
| 3. 小 林 安 雄 | 6. 高 嶋 経 保 | 9. 代々木 和 男 |

元 会 員

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1. 加 藤 雅 光 殿（現横浜たまRC会員） | 6. 田 辺 政 雄 殿 |
| 2. 秋 田 茂 殿 | 7. 和 田 功 殿 |
| 3. 岩 岡 正 殿 | 8. 富 永 力 殿 |
| 4. 武 藤 松 一 殿 | 9. 飯 塚 金次郎 殿 |
| 5. 長 瀬 正 作 殿 | 10. 城 田 昭 次 殿 |

◎米山準功労者

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 赤 柄 忠 昭 | 2. 遠 藤 真 作 | 3. 日 高 信 良 |
|------------|------------|------------|

4. 上 林 正 勝
5. 金 子 朝 夫
6. 小 林 新 一
7. 小 林 敬
8. 幸 内 伸 雄
9. 近 藤 襄
10. 小 杉 隆
11. 松 田 税
12. 三 澤 君 夫

13. 三 橋 英 一
14. 森 善 助
15. 名 倉 健 二
16. 中 林 靖
17. 二 宮 浩
18. 岡 本 健
19. 斉 藤 宏 一
20. 島 田 幸 夫
21. 田 中 克 己

22. 田 沼 文 衛
23. 渡 辺 宏 未
24. 藪 島 五 郎
25. 矢 島 誠 治
26. 山 下 栄 蔵
27. 横 井 好 明
28. 好 井 良 雄

会 員 外

1. 小 林 ハマ子 殿

2. 内 野 陽 子 殿

1989～90年度累計

特 別	12,271,000円
内本年度	1,994,000円 (1人当 39,000円強)
普 通	2,156,750円
内本年度	155,750円
(特別の内クラブ特)	674,000円)
本年度分	0

ポリオプラス委員会報告

委 員 長 二 宮 浩

副委員長 近 藤 襄

1. ポリオプラス寄付をお願いし、2,011,500円(89.11 現在)と最終目標金額2,020,000円をほぼ達成した。
2. ポリオプラス月間にポリオ、ハンカ、破傷風、ジフテリア、百日咳、結核等の疾患について話しをし、理解を深めた。

会 計 報 告 書

(1989～1990年度)

平成1年7月～平成2年6月

会 計 佐 藤 英 治

1. 一 般 会 計

〔収入の部〕

科 目	予 算 額	実 績	差 額
年 会 費	8,250,000	7,992,000	－ 258,000
入 会 金	300,000	1,100,000	800,000
雑 収 入	10,000	39,693	29,693
繰 越 金	81,417	81,417	0
収 入 計	8,641,417	9,213,110	571,693

〔支出の部〕

科 目	予 算 額	実 績	差 額
RC 基金	202,000	222,358	－ 20,358
地区分担金	774,000	653,500	120,500
地区大会分担金	600,000	741,800	－ 141,800
IGF	200,000	188,000	12,000
地区協議会	180,000	178,000	2,000
米山奨学金	175,000	155,750	19,250
予備費	170,000	0	170,000
本 部 関 係 計	2,301,000	2,139,408	161,592
例会費	150,000	229,703	－ 79,703
記念品	350,000	403,892	－ 53,892
通信費	140,000	134,504	5,496
消耗品費	50,000	131,861	－ 81,861
印刷費	450,000	1,551,353	－ 1,101,353
事務委託費	1,584,000	1,551,000	33,000
備品費	100,000	648,000	－ 548,000
交際費	150,000	130,900	19,100
雑誌文献費	200,000	204,800	－ 4,800
慶弔費	70,000	40,000	30,000
雑費	50,000	54,360	－ 4,360

科 目	予 算 額	実 績	差 額
予備費	50,000	0	50,000
総 務 費 用 計	3,344,000	5,080,373	- 1,736,373
出席	10,000	0	10,000
職業分類	10,000	0	10,000
親睦	1,100,000	1,154,548	- 54,548
雑誌	10,000	0	10,000
会報	1,200,000	1,019,300	180,700
会員選考	20,000	0	20,000
会員増強	20,000	0	20,000
プログラム	150,000	100,000	50,000
R情報	20,000	0	20,000
SAA	150,000	98,000	52,000
広報	30,000	0	30,000
雑費	0	0	0
予備費	276,417	0	276,417
事業費計	2,996,417	2,371, 848	624,569
支 出 計	8,641,417	9,591,629	- 950,212
特別会計収支			- 378,519

2. 特 別 会 計 (食 事)

[収入の部]

科 目	予 算 額	実 績	差 額
年会費	2,750,000	2,808,000	58,000
ビジター登録料	60,000	65,000	5,000
雑収入	10,000	0	- 10,000
前期繰越金	0	0	0
収 入 計	2,820,000	2,873,000	53,000

[支出の部]

	予 算 額	実 績	差 額
例会食事費	2,800,000	2,276,333	523,667
予備費	20,000	0	20,000
支 出 計	2,820,000	2,276,333	543,667
特別会計収支			596,667

特 別 会 計 (奉 仕)

〔収入の部〕

科 目	予 算 額	実 績	差 額
スマイル	1,300,000	1,010,500	- 289,500
雑収入	10,000	0	- 10,000
前期繰越金	0		0
収 入 計	1,310,000	1,010,500	- 299,500

〔支出の部〕

科 目	予 算 額	実 績	差 額
職業奉仕	50,000	0	50,000
社会奉仕	400,000	212,850	187,150
青少年	80,000	20,000	60,000
インターアクト	200,000	103,000	97,000
ローターアクト	350,000	234,000	116,000
国際奉仕	100,000	171,330	- 71,330
世界社会奉仕	20,000	0	20,000
予備費	110,000	0	110,000
支 出 計	1,310,000	741,180	568,820
特別会計収支			269,320

本 会 計 収 支

科 目	予 算 額	実 績	差 額
収 入 の 計	12,771,417	13,096,610	325,193
支 出 の 計	12,771,417	12,609,142	162,275
次期繰越額			(A) 487,468

仮 受 金

科 目	前期繰越金	収 入	支 出	残 高
ポリオ	0	495,000	435,000	60,000
20周年	2,084,235	0	1,300,000	784,235
諸口	0	61,500	0	61,500
米山寄付	0	3,974,000	3,794,000	180,000
ロータリー寄付	158,700	750,000	705,600	203,100
計	2,242,935	5,280,500	6,234,600	1,288,835
次期繰越額			(B) 1,288,835	

通 帳 残 高

科 目	収 入	支 出	
前期繰越額	(81,417 + 2,242,935)		2,324,352
本会計収支	13,015,193	12,609,142	406,051
仮受金収支	5,280,500	6,234,600	- 954,100
月末通帳残高			(A + B) 1,776,303

集 計 票

区 分	収 入		支 出	
一般会計	年会費	7,992,000	本部関係	2,139,408
	入会金	1,100,000	総務関係	5,080,373
	雑収入	39,693	委員会関係	2,371,848
	繰越金	81,417		
	計	9,213,110	計	9,591,629
特別会計	年会費	2,808,000	例会食事費	2,276,333
	ビザ-登録	65,000	予備費	0
	雑収入	0		
	繰越金	0		
	計	2,873,000	計	2,276,333
	スマイル	1,010,500	奉仕関係	741,180
	雑収入	0		
	繰越金	0		
	計	1,010,500	計	741,180
	収入合計	13,096,610	支出合計	12,609,142
			次期繰越	487,468

横浜緑ロータリークラブ組織表

1989～1990年度（平成元年度～平成2年度）

1. 理 事 藪 島 五 郎 近 藤 襄 中 林 靖 赤 柄 忠 昭
田 中 克 己 土 志 田 猛 金 子 朝 夫

2. 役 員 会 長 藪 島 五 郎 副幹事 渡 辺 宏 未
幹 事 幸 内 伸 雄 副SAA 日 高 信 良
副会長 近 藤 襄 “ 飯 田 重 雄
SAA 小 杉 隆 副会計 (八 木 節 夫)
会 計 佐 藤 英 治

3. 委 員 会 (◎印 委員長 ○印 副委員長)

A. クラブ奉仕委員会 (担当理事) 近 藤 襄 (寺 崎 誠 三)

- (1) 出 席 委 員 会 ◎小 林 新 一 ○日 高 信 良 名 倉 健 二
(2) 職 業 分 類 委 員 会 ◎山 下 栄 蔵 ②岡 本 健 ③小 林 安 雄
(3) 親 睦 委 員 会 ◎渡 辺 宏 未 (○八 木 節 夫) 折 田 啓 一 郎 島 田 幸 夫
(中 畑 龍 二) 斎 藤 宏 一 田 沼 文 衛 松 田 税
森 實 遠 藤 一 典 堀 井 基 章 井 上 周 輔
黒 沼 正 雄 長 沼 博 関 口 将 実 田 中 亮 二
渡 辺 清 脇 田 幸 一 加 藤 喜 夫 小 俣 良 一
吉 田 篤 正 三 浦 澄 好
(4) 雑 誌 委 員 会 ◎斎 藤 宏 一 (○飯 塚 金 次 郎) 小 林 敬
(5) 会 報 委 員 会 ◎飯 田 重 雄 ○島 田 幸 夫 日 高 信 良
(6) 会 員 選 考 委 員 会 ◎代 々 木 和 男 ○田 沼 文 衛 内 野 晃
(7) 会 員 増 強 委 員 会 ◎森 善 助 ○中 林 靖 遠 藤 真 作
(8) プ ロ グ ラ ム 委 員 会 (◎城 田 昭 次) (○寺 崎 誠 三) (飯 田 三 郎)
(9) ロ ー タ リ ー 情 報 委 員 会 ◎内 野 晃 ○②好 井 良 雄 ③代 々 木 和 男
(10) 広 報 委 員 会 ◎横 井 好 明 (○加 藤 勇 夫) (八 木 節 夫)

B. 社会奉仕委員会 (担当理事) ◎田 中 克 己 ○上 林 正 勝 日 高 信 良
矢 島 誠 治

青 少 年 (担当理事) ◎赤 柄 忠 昭 ○三 澤 君 夫 (富 永 力)

- (1) インターアクト委員会 ◎上 林 正 勝 ○鶴 川 昇 森 善 助 二 宮 浩
(2) ローターアクト委員会 (◎中 畑 龍 二) ◎斎 藤 宏 一 (加 藤 勇 夫)

C. 職業奉仕委員会 (担当理事) ◎土 志 田 猛 ○好 井 良 雄

D. 国際奉仕委員会 (担当理事) ◎金 子 朝 夫 (○富 永 力)

- (1) 世界社会奉仕委員会 ◎遠 藤 真 作 (○戸 田 裕 也) 折 田 啓 一 郎
(2) ローター財団委員会 ◎高 嶋 経 保 (○寺 崎 誠 三) (長 瀬 正 作) 三 橋 英 一
(3) 米 山 奨 学 委 員 会 ◎三 澤 君 夫 ○横 井 好 明
(4) ポリオプラス委員会 ◎二 宮 浩 ○近 藤 襄

備 品 目 録

品 名	数 量	品 名	数 量
ロータリーの鐘とハンマー	1	卓上 名 札	23
国 旗	1	テーブル・クロス	21
ク ラ ブ 旗	1	コーヒー・セット	40
認 証 状	1	マホー・ビン	10
スマイル・ボックス	1	R財団寄附率証明書	1
グッド・ウィル・ボックス	1	茶 棚	1
レクチャー・アンプ	1	シュガー・ポット	6
テープ・レコーダー	1	ナブキン立て	6
レコード・プレーヤー	1	調味料入れセット	6
レコード (ロータリー・ソング)		クラブ小旗 (さお共)	10
ワイヤレス・マイク	3	ク ラ ブ 印 (角)	1
会員個人別ボックス	2	クラブ会計印	1
書 庫	2	書 類 棚 (W90×H180)	2
バ ナ ー 掛 (各クラブのバナー共)	2	冷 蔵 庫	1
バナー立て	13	スマイル・レポート入れ	12
タ ス キ	11	スイス・カウベル	1
パ ネ ル	19	漆谷RCから点鐘台 (大邱松林RC)	1
写 真 機	1	” 記念楯	1
黒 板	1	RICOPY FT 4060	1
アクリル名札板	1		

充 填 ・ 未 充 填 職 業 分 類 表

正 会 員 (ACTIVE)

平成2年6月30日現在

関 連	職 業 分 類		会 員 名	勤 務 先	役 職 名
	内 科	医 分 類			
医 術	内 科	Physician			
	循環器科	Circulatory	上 林 正 勝	横浜総合病院	理事 院長 兼 院長
	外科	Surgeon			
	小児科	Pediatrist			
	産婦人科	Obstetrician and Gynecologist	近 藤 襄	近藤病院	院 長
	歯科	Dentist	島 田 幸 夫	島田歯科医院	院 長
	口腔外科	Oral Cavity Surgeon	田 中 亮 二	田中歯科医院	院 長
	整形外科	Orthopedic Surgeon	二 宮 浩	二宮整形外科	院 長
	歯科矯正	Dental Orthopedic	加 藤 喜 夫	愛誠歯科	院 長
	耳鼻咽喉科	Ear Nose and Throat Doctor	吉 田 篤 正	吉田医院	院 長
施設及び病院	病 院	Hospital			
	専門病院	Specialty Hospital	脇 田 幸 一	脇田産婦人科医院	院 長
教 育	高等学校	Senior High School			
	幼稚園	Kindergarten			
	私 塾	Private School			
	短期大学	Junier College	堀 井 基 章	堀井学園高校, 短大	理 事 長
	弁 護 士	Lawyer			
ビジネスサービス	税 理 士	Tax Service	長 沼 博	長沼博税理事務所	所 長
	経営相談	Business Counseling Service			

関連	職業分類		会員名	勤務先	役職名
	分	類			
ビジネスサービス	司法書士	Judiciary Scribner Service			
	行政書士	Government Administration Service			
宗教	仏教	Buddhism			
	神道	Shintoism			
機械及び装置	建設機械	Construction Machinery			
	履帯	Caterpillar			
金属加工業	板金工作	Sheet Metal Working			
	金型製造	Molds Mfg			
自動車工業	自動車販売	Automobile Dealers			
	自動車修理	Automobile Repairing	小林 敬	㈱プラザーモーター	代表取締役
電気及び電子工業	電気工事	Electric Construction			
	電気器具製造	Electric Appliance Mfg			
技術	測量	Land Surveying			
	物理療法	Physical Therapeutics	(加藤 勇 夫	加藤接骨院	院長)
プラスチック工業	ビニール高周波加工	Vinyl High Frequency Processing			
	金型製造	Mold Mfg			
印刷及び出版	書籍販売	Book Dist			
	石油製品	Refined Oil Products	松田 税	不動燃料工業(株)	代表取締役社長
鉱油工業	ガソリン販売	Gasolin Dist	(城田 昭 次	㈱城田石油	代表取締役)
	銃器	Fire Arms			
通信事業	電話事業	Telephone Service	折田 啓一郎	N.T.T. 中山電報電話局	局長
	情報通信	Information	横井 好 明	横井通信工業(株)	代表取締役

12/27退会

12/3退会

関連	職業分類			会員名	勤務先	役職名
	建築請負業	建築設計業	建築設計業			
建設業	建築設計	建築設計	General Contracting	渡辺 宏 未	㈱渡辺工務店	代表取締役
	建築設計	建築設計	Architect	(寺崎 誠 三 井 上 輔 周)	(寺崎工務店 誠和技建工業㈱)	代表取締役
	木造建築	木造建築	Wooden Building Construction	小 杉 隆	太陽建設㈱	代表取締役
	ビル建築	ビル建築	Building Construction	金子 朝 夫	工藤建設㈱	常務取締役
	土木工事	土木工事	Public Works			
建築材料資材	舗装工事	舗装工事	Pavc Construction	(飯塚 金次郎	宇路建設㈱	代表取締役)
	建築材料	建築材料	Building Material	黒沼 正 雄	黒沼木材㈱	代表取締役
	アスファルト製品	アスファルト製品	Asphalt Products			
	生コン配布	生コン配布	Concrete Distributing	幸内 伸 雄	日建輸送㈱	代表取締役
	設備工事	設備工事	Equipment Construction	関口 将 実	㈱関口金物	専務取締役
家具及び室内装飾	室内装飾用品	室内装飾用品	Upholstering			
不動産	不動産業	不動産業	Real Estate Agency	土志田 猛	㈱岩本不動産商会	代表取締役
	ビル賃貸	ビル賃貸	Building Renting	遠藤 一 典	藤パークビル㈱	代表取締役
	貸スタデォ	貸スタデォ	Renting Studio			
	土地賃貸	土地賃貸	Proprietary Renting	斎藤 宏 一	斎藤興業開発㈱	取締役社長
	貨物自動車輸送	貨物自動車輸送	Trucking Service			
輸送	旅行幹旋	旅行幹旋	Tourist Agency	赤柄 忠 昭	サン東総業㈱	専務取締役
衣料	綿製品	綿製品	Cotton Goods			
農業及び園芸	農業	農業	Agriculture	渡邊 清		
畜産	飼料	飼料	Feeds			
	獣医	獣医	Veterinary Surgeon	(中畑 龍 二	中畑動物病院	院長)
林業	木材販売	木材販売	Lumber ist	小林 新 一	小林建設林産㈱	代表取締役

12/27退会
2/6入会

5/25退会

2/6入会

2/6入会

2/6入会

2/6入会

12/30退会

関連	職業分類			会員名	勤務先	役職名
	酒	精飲	類			
食	品	飲料	Alcoholic Beverage			
	食品	輸入	Food Importing & Exporting			
金融	都市銀行	行	City Banking	(飯田三郎) 小保良一	三井銀行青葉台支店 太陽神戸三井銀行青葉台支店	支店長
	地方銀行	行	Local Banking	佐藤英治	横浜銀行中山支店	支店長
	外国為替銀行	行	Foreign Exchange Banking			
	信用金庫	業	Credit Banking	(八木節夫) 三浦澄好	八千代信用金庫長津田支店	支店長
	広告	業	Advertisement			
印刷及び広告	印刷	刷	Printing	飯田重雄	飯田印刷(株)	代表取締役
	看板広告	告	Advertising Service	高嶋経保	横浜標識(株)	代表取締役
	活版印刷	刷	Letterpress	田中克己	日本ビジネス・フォーム(株)	代表取締役
	新聞	聞	News Paper	森實	日経総合印刷(株)	社長
美容	理容	容	Barber			
	美容院	院	Beauty Shop			
ホテルリゾート及 レストラン	料理店(和食)	店	Restaurant (Japanese Stayle)	日高信良	(株)オータス(浜太郎)	代表取締役
	ホテル	テ	ル			

3/30退会
5/2入会

3/30退会
6/13入会

11/22入会

シニア・アクティブ会員 (SENIOR ACTIVE)

元	職	業	分	類	会 員 名	勤 務 先	役 職 名
(ビニール高周波加工	板 金 工 作	Vinyl High Frequency Processing			富 永 力	富永高周波工業(株)	代表取締役)
	高 等 学 校	Sheet Metal Working			小 林 安 雄	株小富士産業	取締役社長
	履 帯	Senior High School			鶴 川 昇	桐蔭学園	理事長・学長・校長
	(タ ク シ ー 業	Caterpillar			名 倉 健 二	株東京リンク製作所	相 談 役
	不 動 産 賃 貸	Taxicab Service			長 瀬 正 作	網島交通(株)	取 締 役)
	食 品 材 料 配 布	Real Estate Renting			森 善 助		
	ボ ー リ ン グ 場	Foods Material Distributing			田 沼 文 衛	グリーン食品(株)	相 談 役
	鉄 鋼 建 築 業	Bowling			三 澤 君 夫	三澤合資会社	代 表 者
	銃 器	Iron Building Industry			好 井 良 雄	株好井鉄工所	代表取締役
	建 設 機 械	Fire Arms			岡 本 健	ミロク機械(株)	代表取締役
	土 木 工 事	Construction Machinery			山 下 栄 蔵	山下工業(株)	取締役社長
	外 科 医 院	Public Works			三 橋 英 一	三橋建設(株)	取締役社長
	(病 院	Surgeon			内 野 晃	内野医院	院 長
	電 気 器 具 製 造	Hospital			戸 田 裕 也	長津田厚生総合病院	院 長)
	建 築 材 料	Electric Appliance Mfg			蔵 島 五 郎	横浜北工業会	専 務 理 事
	アスファルト製品	Building Material			代々木 和 男	株代々木商店	取締役社長
	設 備 工 事	Asphalt Products			中 林 靖	日本舗材(株)	取締役会長
	ビ ル 賃 貸	Equipment Construction			遠 藤 真 作	株遠藤製作所	社 長
		Building Renting			矢 島 誠 治	株矢島ビルディング	取 締 役

開 放 7 8 充 填 3 5
未 充 填 4 3
シニアアクティブ会員 1 6

